

あなたとまちをつなぐ

広報ひの

町村合併65周年記念版



日野町長

藤澤 直広

日野町を築いてきてくださった

先人の皆さんに感謝

昭和30年3月16日、1町6村が合併し、現在の日野町が誕生し今年で65年を迎えます。「平成の合併」を乗り越え、日野町として歩みを進められることは素晴らしいことです。日野町を築いてきてくださった先人の皆さんに感謝し、町民の皆さんとともに65周年をお祝いしたいと思います。今、田舎を大切に思い、住んでみたいと考える人が増え



日野町議会議長

杉浦 和人

住民の声反映される町づくり

日野町は昭和30年3月16日に1町6村が合併して、本年は記念すべき65周年を迎え、皆様とともにお慶び申し上げます。

町の将来を見据え、中学校統合、道路網整備、工業団地誘致と数々の事業で日野町の礎を築いていただいた先人の英知に敬意を表し、多くの皆様のご苦勞に深く感謝を申し上げます。

日野町は平成の合併に頼らず、持続可能な地域社会の

るなど「田園回帰」の流れが広がっています。日野町には、豊かな自然、歴史と伝統文化、人々の温かいつながりがあり、何よりも「自分達の町のことは自分達で考え行動する」という「自治の気風」があります。おかげさまで町民の皆さんのご協力によって、色々な事業が一步一步進んでいます。近江鉄道日野駅再生事業も町内外の多くのご支援によって、立派に再生でき、観光案内交流施設「なないろ」もにぎわっています。三方よし！近江日野田舎体験も引き続きたくさんの子ども達が行って来ています。

町では、第6次日野町総合計画の策定を進めています。自由で闊達な議論がひろがり町民の皆さんの思いがしっかりと詰まった計画にまともな上げたいと思います。誰もが幸せになる社会、住民が主役、公平公正な行政、さらに元気で温かいまちをめざし、町民の皆さんと力を合わせたいと思います。どうかよろしくお願ひします。

確立をめざし、助け合いながら確かな未来ある町づくりに取り組んでいます。

しかし、若者が流出し高齢化が進み、役員の手不足で地域活力の低下が深刻な問題として迫っています。町は人口減少の克服と「地方創生」を実現させ、さらに自治能力を高め、それぞれの地域が抱える諸問題を積極的に解決すべきであります。

若者に町の魅力を感じてもらえるように、議会では政策が偏ることなく、多くが望む事業になるよう、住民の皆様や新成人の皆様との意見交換会を引き続き実施して参ります。本年は子ども議会の開催も計画しています。

先人に学び、次世代にしっかりと繋ぐために、住民・行政・議会がワンチームで地域の活性化に取り組みで参りたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

結びに、町の一層の発展と皆様のご健勝ご多幸をお祈りいたします。

